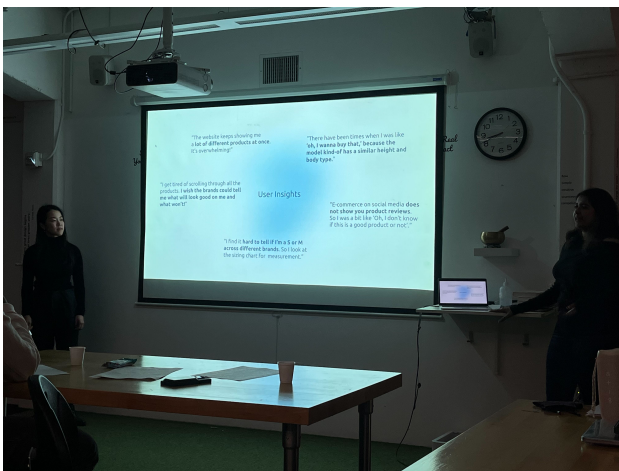


1学期を終えて

保川有梨

皆さまご無沙汰しております。本日は冬至、日本は寒さが増してきたころでしょうか。サンフランシスコも寒さが一段と厳しくなり、日中は十数度ありますが、朝晩は五度程まで下がるときもあります。

こちらは先週一学期を無事終えることができました。学生たちと朝から晩まで議論しあい、様々な視点から改善点や可能な解決策を練っていく毎日は、大変ではありましたが学びばかりでした。理論を通して実践を積み重ねていく過程で、自分自身の中で行ったリサーチ、インタビュー、またそれに基づき書き起こしたデザインアイデアを、授業でとことん議論し合います。実現可能な部分、リサーチが更に求められる部分、多角的なアプローチが必要な部分など、学生や教授達と意見を交わし合うことで、再度検討し、修正を重ねていくことは、大きな財産となりました。



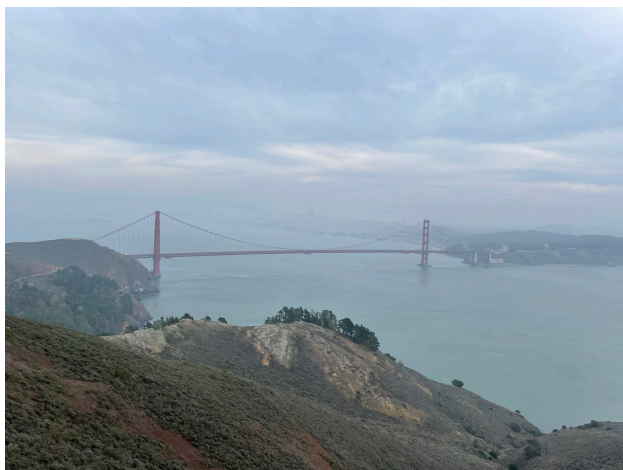
(写真：プレゼンテーション発表の様子)

学生達の間では、フィードバックを与えるだけでなくもらうことを互いに励まし合っており、「どんなフィードバックも心から受け入れる、自分のためだけでなく相手のために必要なことを言う」ことを皆心がけています。本学科には海外からの留学生も多く、同じ境遇にいる彼らから学ぶ

ことも多くありました。例えば、インド人の学生達はメンタリティや発言方法、会話の運び方など様々な面からアジアの学生達と異なる部分があります。自分を大きく見せることを異にしない文化では、自分の才能や可能性に焦点を当てた会話や間髪を入れないやり取りが一般的です。初めは慣れるのに時間がかかりましたが、こういった異なる背景をもつ彼らの考え方は、知ることによって自分自身の考え方も広がっていくのだと感じました。また、異なる文化に触れることで、自身の日本人としてのアイデンティティがよりくつきりと色濃くなっていく感覚も覚え、改めて日本人として何を伝えられるのか？ということのを再認識することができました。

こちらでの生活も5ヶ月が経ち、現地の様子を肌で感じています。学校に通うために毎日バスを利用しており、バス内でホームレスの方々を見かけることも頻繁にあります。バス停や一部の区域では、ホームレスの方々が路上でテント生活をしていたり、物乞いをしていたりする風景も日常茶飯事です。政府によるとサンフランシスコ市内には8,000人のホームレスの方々がいるようですが、実際には倍以上の数とも言われており、正確な数はわかりません。薬物に手を出すホームレスの方も多く、先日訪れた街では路上に薬物用の注射針が何十本も落ちていたことから深刻さが伺えました。こういった風景を目にしながら、貧富の差の激しさ痛感しています。

冬季休暇に入り、先日ゴールデンゲートブリッジの北側のSausalitoという街まで行き、ハイキングをしてきました。ゴールデンゲートブリッジはおおよそ30-40分ほどかけて徒歩で渡ることができる橋（車での通行は\$8）ですが、あるき出した途端にあまりの風の強さに、押し戻されそうになりながらなんとか渡り終えました。いくつもの山が連なる場所で、海に面してハイキングのトレイルが有り、普段見慣れない苔や植物も有り、とて



(写真：Sausalito側からのゴールデンゲートブリッジ。)

も美しい場所です。それと同時に、戦時中は米国の軍の基地として使われた場所でもあったそうで、いくつかの基地が依然として残っていました。

クリスマスが近づき、街も色づき始めています。サンフランシスコの中心であるユニオンスクエアには巨大なクリスマスツリーが出現し、人々の心を灯しています。皆さまにも素敵なクリスマスと年末が訪れますように。



(写真：ユニオンスクエアから。)